

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

| 課題の類型1    | 課題の類型2            | 背景・現状・課題の詳細                                                       | 左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組                                                         | 左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組                | 本事業で達成する目標（アウトカム）                        | 目標の達成度を測る指標    | 現状の数値 | 単位  | 本年度の目標値 | 本年度の実績値            | アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）                                                  |
|-----------|-------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------|----------------|-------|-----|---------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ①学校運営上の課題 | 障害や困難を抱える児童生徒への対応 | 活動になかなか参加できない児童があり、その対応に困難を感じることがあった。                             | 各活動時にスタッフの振り返りを行い、各児童の様子を把握し、次回の支援の見通しを持つ。運営委員会等で、学校との情報共有を図ると共に、現場のコーディネーターとの連携を図る | 日々の声掛け、振り返りによるスタッフ間での、児童の様子の情報共有を行うことができたため、継続していく。 | 学校での指導と共に、児童の情報をできる範囲で共有し、個の成長を見届ける。     | 学校との情報共有の場の設定。 | 3     | その他 | 3       | 3 <sup>03</sup> 本  | 運営委員を開催し、コーディネーター、学校、事務局等での情報の共有を図ることができた。児童の子の成長を見守り、学校と情報を共有した。                     |
| ②学校と地域の課題 | 学校支援ボランティアの確保・育成  | ボランティアの人数増を図り、高齢化によるボランティアの減少を避けるため、地域でのボランティアの募集、声掛けを行い、地域交流を図る。 | 該当地域へのボランティアの募集のチラシの配付及び、既存のボランティアに対するアンケートの実施及び聞き込み、紹介等による人材の確保に努める。               | ボランティア向けのアンケートを作成の上、回収し、現状のボランティアの状況の把握に努める。        | 支援ボランティアが増えることにより、より一層充実した放課後子供教室の運営を図る。 | ボランティア登録者の人数増  | 15    | 人   | 17      | 16 <sup>02</sup> 本 | 回覧等で、地域への事業の周知及びボランティアの募集等を行い、1名の増員があった。ボランティアの活性化のため、更なる人数増を図りたい。                    |
| ③学校と家庭の課題 | 放課後等における多様な体験活動   | 現状は、小学校1、2年生を対象とし、限られた時間の活動としている為、他の学年と触れ合い、同じ体験活動をする機会は少ない。      | 夏休みに特別活動として、1～6年生対象の放課後子供教室を1回、開催する。                                                | 体験活動の内容を検討し、1年生でも6年生でも楽しく参加できる活動を計画する               | 他学年との触れ合いを通して、多様な体験活動を経験する               | 参加人数の増加        | 22    | 人   | 25      | 18 <sup>02</sup> 本 | 夏休みの特別活動を通して、平日の教室では触れ合えない他学年との活動を行うことができた。低学年の参加が多くなる傾向があるため、高学年にも参加を望める活動を検討していきたい。 |